

(別紙)

ロシアのプーチン大統領によるウクライナへの侵略に断固抗議する決議

我が国を含む国際社会が強く自制を求めるなか、本年2月24日、ロシア軍はウクライナに対して軍事侵攻した。

ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なう侵略であり、断じて容認できない暴挙である。

既に東部の親ロシア派地域を支配し、首都キエフなどの都市にも攻撃を加え、この攻撃により多数のウクライナの人々が犠牲となり命も奪われている。

このような武力を背景とした一方的な現状変更への強行は、ウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法並びに国連憲章の重大な違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので断じて許せない。

ここに田上町議会は、ロシアによる一連のウクライナへの侵略に断固抗議するとともに、軍の即時撤退、国際法の順守を強く求める。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を求める。

以上、決議する。

令和4年3月15日

新潟県南蒲原郡田上町議会